

巻頭言

平成 28 年度事業報告及び平成 29 年度の事業計画に向けて

早春の候、皆様におかれましては、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、平成 28 年度も会員の皆様の資質向上を目的とした学術活動、広報・公益活動、職能活動を三位一体で推進して参りました。学術活動におきましては、近畿理学療法学会を 2 日間開催し盛会裏に終えることができ、会員のみなさまに身近で発表の場と、日本のリハビリテーション医学における著名な医師による講演拝聴の場を提供できましたことは、学術研鑽の士気を高める上で大変意義深いものであり、運営委員の方々に改めて御礼申し上げます。

また、地域包括ケアシステム構築に向けて、地域包括ケア推進リーダー研修、介護予防リーダー研修、ステップアップ研修を引き続き開催し、会員の資質向上に取り組み地域活動の準備を進めて参りました。組織面では、県下を 11 に支部化（医療福祉 7 圏域＋和歌山市 4 支部）し、それぞれに支部長を置き市町村への協力窓口を開設しました。各支部長の先生方は、市町村の担当課を訪問する等の関係づくりに取り組んで頂いております。

職能面では、地域包括ケアシステムの推進に向けて、県理学療法士連盟の協力を得て県議の方々や、担当課と意見交換を行ってきました。全国的には、皆様のお蔭で二人目の国会議員が誕生しました。政権政党である自民党の参議院議員小川かつみ氏（日理協会副会長）が誕生し、厚生労働委員会（正に次期診療報酬を審議する委員会）委員に就任することが出来ました。山口和之氏（理学療法士・参議院議員）とともに、国とのパイプが強まりましたので、今後の活躍に期待したいと思います。

平成 29 年度事業計画では、引き続き会員の直接的な利益に繋がる治療技術向上のための学術活動に最も力を注ぐとともに、将来に向けた活動を展開して参ります。

・平成 30 年度の医療と介護の同時改定に向けた対策について

日本理学療法士協会職能局では、全国規模でのデータ収集システムを構築し分析に取り組み、厚労省に対する要望書と政策提言の準備を進めています。それを具現化するために 2 名の参議院議員と日本理学療法士連盟に協力を要請されています。当協会もデータ収集に協力して参ります。

・地域包括ケアシステム構築の推進に向けて

平成 29 年度より、いよいよ地域包括ケアシステム構築の推進が本格化し、市町村では地域ケア会議が開催されます。介護保険サービスが、おもてなし型から自立支援型へのサービス提供へと、本来のあるべき姿に軌道修正されます。厚生労働省や日本理学療法士協会及び和歌山県長寿社会課は、埼玉県和光市の自立支援型モデルを推進しており、そこに私たち理学療法士の専門職としての活躍の場があります。

当協会では、県下の会員・支部長・市町村への支援を目的に、理事会等で組織力強化と和歌山県地域包括ケアサポートステーション（仮称）の開設を模索して参りました。先般より、日本理学療法士協会に支援をお願いしていましたが、先駆的な方法であるとの高い評価を受け、日本理学療法士協会初の特別支援金を頂けることが決定いたしました。また、県理学療法士連盟の支援のお蔭で県長寿社会課からも新たな補助金を頂けることになりました。日本理学療法士協会からの事務員雇用のための補助金にこれらを加え、平成 29 年度事業を進めて参ります。

平成 29 年度も、職能団体として理学療法を通して県民のために社会貢献すると共に、理学療法士の地位向上や生活保障を得るための活動を行って参ります。

入会間もない頃は、研修会に参加できないとメリットがないと捉えがちですが、むしろ職能団体・組織でしか得ることのできない大きなメリットに目を向けて頂ければと存じます。

今後も、三位一体の発展を目指して参りますので、ご理解・ご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



会長 中前 和則

◇平成 28 年度 和歌山県医療従事功労者賞 受賞報告

副会長 広報局担当理事 吉富 俊行

平成 29 年 2 月 15 日（水）、平成 28 年度和歌山県医療従事功労者賞の授与式が県庁本館正庁にて厳かに催されました。

当協会からは厚生局長の南和幸先生、財務局長の前裕充先生が受賞されました。

受賞者は他に薬剤師、管理栄養士、診療放射線技師、歯科技工士、臨床検査技師、作業療法士、言語聴覚士から 1 名ずつの合計 9 名で、仁坂県知事から表彰状とメダルの授与が一人ひとり執り行われ、知事の式辞に続いて来賓代表で浅井修一郎県議会議長が祝辞を述べられました。

今回の先生方の受賞は、日頃の熱心な理学療法業務が認められた結果であり、当協会としても非常に喜ばしく名誉あることだと思います。受賞されましたお二人の先生方におかれましては、誠におめでとうございます。これからも健康に気を付けて頂き、より一層ご活躍されることを祈念したいと思います。



理事会 報告

■平成 28 年度第 7 回理事会 報告■

日 時：平成 29 年 1 月 21 日（土）14:00～19:00

場 所：アバローム紀の国 5 階 スズラン

参加者：

（出席理事）中前和則、林積司、上西啓裕、吉富俊行、森本昌信、前裕充、南和幸、西川典男、岩崎正和、須賀和明、松井有史、林元光広
美濃真豊、橋尾学、安井常正

（出席監事）川村是安、浦正行

（書記）坂本、木野

委任状：辻中清晃

・会長挨拶：

明けましておめでとうございます。本年も、職能団体として皆様と共に、学術活動、公益活動、会員の利益に資する活動を行い、理学療法士協会の発展に寄与して参りたいと存じます。昨年は、皆様の方で二人目の理学療法士の国会議員が誕生し、また近畿理学療法学会大会も盛会裏に終えることができました。これも一重に皆様のご協力の賜物です。本年も、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

1. 議 案：

1) 日本理学療法士協会モデル事業（士会強化事業の支援金補助）について：別紙資料にて報告

①和歌山市の自主活動グループ立ち上げ応援事業受託

②自立支援型地域ケア会議（研修会）派遣について林元理事より報告

③岩出市・海南市・有田川町での地域ケア会議への会員派遣について岩崎理事より報告

④現状と課題、士会強化事業の概要、成果、効果予測について林元理事より報告

⑤士会組織機能強化支援金助成モデル事業を展開するにあたって、日理協会からの補助金は 3 年のみであり、市町村からの委託が恒久的にあるとも限らないことから、3 年以内に他の事業展開も含めて採算事業展開を模索する必要がある。

⑥事業展開するうえで、専有事務所の購入も検討する。

上記の内容で、日理協会からのヒヤリングに対応する。

2) 新入会者の承認について：別紙資料にて報告し承認を得る

3) 平成 29 年度事業計画および事業予算案について：別紙資料にて各担当局より報告
29 年度事業を展開するうえで、専有事務所の購入も検討する。

4) 広報局 WiFi 導入について

①広報局のネット利用は勤務先施設のものを使用しているが、勤務先施設のセキュリティーの問題が指摘されているため、広報局で使用する専用の WiFi を契約することで承認を得る。

②費用は財務局で管理する。

5) 代議員の理事会傍聴について

①和歌山県理学療法士協会選出の鍋嶋代議員（日本理学療法士協会代議員）より、和歌山県理学療法士協会理事会の傍聴の申し出がありました。「和歌山県の実情をより理解し、代議員としての役割を果たすため、協会理事会の傍聴を許可していただきたく考えております」→承認（次回より、オブザーバーとして出席とする）

②交通費は協会から支給し、資料作成費は支給しない。

2. 各局からの報告・検討事項

1) 事務局：各部からの資料にて報告

①12/19より事務員（パート）雇用する。勤務時間13:30～17:30

現在は主に会員管理業務を行っている

②平成29年1月19日現在 会員数：1,147名

③会員登録を勤務先から自宅会員に変更する会員が増えてきているが、勤務（パート含む）している会員は勤務先会員として登録してもらう。

④新卒者の入会手続きの方法について各養成校に学生への周知を促すよう日理協会に要請する。

2) 学術局：資料にて報告し承認を得る

①近畿理学療法士学術大会報告

250万円を兵庫からの繰越金（130万円）に上乗せし、380万円を滋賀県に繰り越す予定

②パソコンとプロジェクターを購入予定

③長谷川先生が協会を退会するため、理学療法士講習会として実施できないため来年度より県士会事業として実施する。

④県学会費が会員の増加に伴い、来年度予算は120万円で計上している。

⑤県学会の開催日程を例年の3月から9月又は10月に変更したい。ゆくゆくは7月に移行していきたい。

⑥新人教育プログラムを紀北地域局で開催するように検討する。

3) 広報局：資料にて報告し承認を得る

①毎日新聞「企画特集」への掲載について

・昨年掲載した「企画特集」が好評であったため、今年も3月に、「アスリートを支える医師・理学療法士」（仮題）でスポーツ分野に貢献している医師・理学療法士に焦点を当て特集を検討中。

・（公社）和歌山県理学療法士協会の名称も盛り込むように検討する。

・ニュース原稿締め切り2月17日（金）

4) 厚生局：資料にて報告し承認を得る

日理協もオリンピック・パラリンピックに意欲的。障がい者スポーツへの活動に一層力を注いでいって戴きたい。

5) 職能局：資料にて報告し承認を得る

診療報酬、介護報酬改定に関する研修会については連盟への委託事業とする。

6) 対外活動統括：福祉局、保健局、地域包括ケアシステム推進局にて報告

①福祉局：資料にて報告し承認を得る

12/11に第87回地域リハ講座（太地町）開催、1/22に第88回地域リハ講座（印南町）開催予定

②保健局：資料にて報告し承認を得る

和歌山市健康フェア（10/29）、第2回和歌山市家庭家族介護教室（11/12）、糖尿病予防フォーラム（11/19）開催

7) 地域包括ケアシステム推進局：資料にて報告し承認を得る

①各支部での活動費を来年度より予算化し計上している。

②湯浅町の地域ケア会議については医療機関が1件しかない現状のため、町と施設が直接契約している。

③紀南の地域ケア会議については計画が上がっていない状態

④今年度中に県内全域の地域包括支援センターに各支部長等が出向いてケア会議立ち上げ、参加の要望を行う。

8) 紀北地域局：資料にて報告し承認を得る

2月5日に研修会開催予定

9) 和歌山市地域局：資料にて報告（代理 森本事務局長）し承認を得る

1月29日紀北地域合同勉強会開催予定

10) 紀中地域局：資料にて報告し承認を得る

12月18日紀中学会開催、3月に各ブロックにて新人症例検討会開催予定

11) 紀南地域局：資料にて報告し承認を得る

2月19日（第3回）、3月25日（第4回）紀南地域局研修会開催

12) 財務局：資料にて報告し承認を得る

会費未納者に対して、施設理学療法士長に納付を促していただく。

特定資産情報インフラ積立について、PC再購入については各理事より連絡をもらう。

13) 代議員

平成 29 年 6 月 3・4 日に日本理学療法士協会総会予定

3. その他：

1) 倫理委員会

11 月近畿学会時の委員会報告

次回の滋賀県での近畿学会時に倫理研修会開催予定

近畿ブロック会議にて、倫理啓発活動を進めていくことを伝える。

対外活動統括より

【福祉局】

福祉局担当理事 須賀 和明

◇第 87 回地域リハビリテーション講座の開催

日 時：平成 28 年 12 月 11 日（日）13：00～16：00

内 容：町民への公開講座

場 所：太地町公民館

参加者：54 名

講 師：須賀 和明（白浜はまゆう病院）、植山 貴美子（町立くしもと病院）

西畑 将史（新宮市立医療センター）、生駒 将（新宮市立医療センター）

山本 祐己（串本有田病院）、尾崎 圭祐（串本有田病院）、足立 順（串本有田病院）

「太地町地域リハビリテーション講座」に参加して

串本有田病院 尾崎 圭祐

12 月 11 日（日）太地町公民館にて行われた地域リハビリテーション講座（家庭でできるリハビリテーション）に参加させて頂きました。今回の受講者数は 60 名程で例年を大きく上回る結果であり、地域住民が自分たちの健康のことを真剣に考えていることがわかりました。介護予防に関しては、個々に対する機能訓練だけでなく、「活動」と「参加」に焦点をあてた地域全体に対するアプローチが重要であり、人と人とがつながりを通じて参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりが必要であると感じました。



◇第 88 回地域リハビリテーション講座の開催

日 時：平成 29 年 1 月 22 日（日）

内 容：町民への公開講座

場 所：印南町公民館

参加者：46 名

講 師：須賀 和明（白浜はまゆう病院）、西川 典男（リバティ博愛）、村尾 佳美（訪問看護中紀）

光宗 義大（国立和歌山）、橋尾 学（国保日高総合病院）、奈良岡 隆也（有田市立病院）

岩崎 正和（栗原整形外科）、竹中 克好（栗原整形外科）、星合 敬介（北出病院）

「印南町地域リハビリテーション講座」に参加して

訪問看護ステーション中紀 村尾 佳美

1月22日（日）に印南町で開催された 地域リハ講座「家庭でできるリハビリテーション」に参加させて頂きました。当日は住民の方々が多数参加され、地域の方々のモチベーションの高さを感じました。

前半は、基本動作の介助方法についての説明と実技、後半は、腰痛体操や下肢の筋力アップ体操を地域の方々と一緒に行わせて頂きました。寝返り、起き上がり、立ち上がり、移乗の介助方法の説明と実技指導、体験を実施し参加者から積極的に質問や意見を聞くことができました。

実際に介護をされている方は少なかったですが、将来の介護への不安を訴えられている方もおられ、実技指導を行う中で介助方法に関する悩みも個別に対応することができました。

今回、参加させて頂き理学療法士として地域の方々との対応は非常に貴重な体験となりました。今後もこのような機会を通し、地域の方々に貢献していきたいと思います。

【地域包括ケアシステム推進局】

地域包括ケアシステム推進局担当理事 林元 光広

◇介護予防推進リーダー導入研修

介護予防推進部部長 脇田 謙一

会員の皆様もご周知の通り、日本理学療法士協会では地域包括ケアシステムの構築のため、「地域ケア会議」と「介護予防」に重点をおいています。今回、当局では介護予防事業にて活躍される人材を育成するために、平成26年度から3回目となる介護予防推進リーダー導入研修を開催致しました。

前半では介護予防に理学療法士が関わることの必要性や関わり方、行政の担当者に対する説明方法などを学んでいただき、後半はオリジナルの内容に変更したグループワークをおこなっていただきました。グループワークでは、地域別に分かれていただき、更に各地域での実情に合わせた課題を話し合うことで、新たな考え方や、地域に活かせる意見も得ることができました。

来年度以降の導入研修では、更に内容を検討・改訂し既にリーダーを取得されている方が再受講されても価値のあるものにしていきたいと思います。

地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割、必要性は地域で働いておられる会員の皆様が把握している、または把握することが必須であると考えております。今後もより良い地域づくりにご協力いただければと思います。

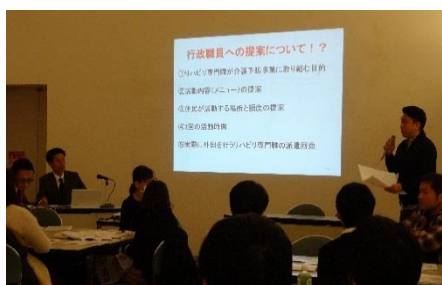
日 時：平成29年1月15日（日）9時30分～16時30分

場 所：きびドーム 多目的研修室

講 師：林元（訪問看護ステーションはやしもと）、龍神（龍神整形外科）、脇田（はしもと整形外科）
池田（角谷リハビリテーション病院）、林（紀の川市）

運 営：岩崎（栗原整形）

参加者：PT 20名、ST 8名



◇介護予防ステップアップ研修会

地域包括ケアシステム推進局 介護予防推進部部長 脇田 謙一

介護予防推進リーダーを取得された方を対象に、地域ケア会議・介護予防にてセラピストにとって必要とされる知識や、それらを現場で活かす方法を学んでいただくために、ステップアップ研修を開催致しました。講師は、東京都健康長寿医療センター高齢者健康増進支援室研究部長の大淵修一先生をお招きして「介護予防や地域ケア会議に役立つエビデンス」についてのご講演をおこなっていただきました。普段知ることのできない研究結果や最新のエビデンス、目標設定の考え方までご教授いただくことができ、とても貴重な時間となりました。また、後半では訪問看護ステーションはやしもとの林元光広先生による「和歌山市の現状」をご報告いただき、和歌山市に必要とされる人材や課題までお話をいただきました。

受講された先生方も今回の研修で得たものを地域に生かしていただきたいと思います。今後も地域活動にご協力下さい。当局でも皆様の活動を最大限に支援できるように努めてまいります。

日 時：平成 29 年 2 月 5 日（日）9 時 30 分～12 時 30 分

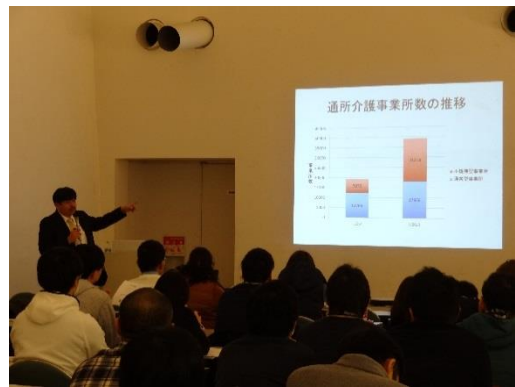
場 所：きびドーム 多目的研修室

講 師：大淵修一（東京都健康長寿医療センター高齢者健康増進支援室）

林元光広（訪問看護ステーションはやしもと）

運 営：岩崎（栗原整形）、川口（訪看はやしもと）、脇田（はしもと整形）、大橋（角谷リハ）、松本（堀口記念）
山本（プライマリー）

参加者：PT 65 名、OT 5 名、ST 5 名



「介護予防推進リーダーステップアップ研修」に参加して

訪問看護ステーションはやしもと 山崎 裕香

平成 29 年 2 月 5 日（日）に有田川町のきびドームにて開催された「介護予防推進リーダーステップアップ研修」に参加し、地域包括ケアシステム構築のための介護予防の必要性やリハビリ専門職の役割、介護予防・日常生活支援総合事業への考え方等について学ぶことが出来ました。

介護予防に取り組み、健康寿命を伸ばす「自助」、家族・地域で生活を支え合う「互助」がどれだけ出来るかは地域の実情によって異なり、そういった地域課題を解決するために今後リハビリ専門職としてどのように関与していくのかを考える良い機会になりました。高齢者の社会参加を通じた介護予防の推進や住民主体の通いの場の充実等、よりよい地域づくりのために今回の研修で得られた様々な視点や知見を持って、専門職として今後の活動にも積極的に参加していきたいと改めて思いました。

◇地域包括ケアステップアップ研修会

地域包括ケアシステム推進局 地域連携推進部部長 川口 香容

一昨年度から地域包括ケア・介護予防推進リーダー制度が制定され、当協会でも多くの会員に受講いただきました。そのステップアップ研修として、地域包括ケアでは今回は、「地域ケア会議のアドバイザーに役立つ視点」についての講義とグループワークを行いました。

県下では、実事例に基づいた地域ケア会議が始まっている地域もあり、リハ専門職がアドバイザーとして出席しています。地域ケア会議の専門職アドバイザーとして、個別課題から、地域課題まで、そして地域住民が活躍できる居場所づくりにどのように関わるのか、今回の研修が皆さまのお役に立てれば幸いです。

日 時：平成 29 年 2 月 5 日（日）13 時 30 分～16 時 30 分

場 所：きびドーム 多目的研修室

講 師：林元（訪看はやしもと）、龍神（龍神整形）

運 営：岩崎（栗原整形）、川口（訪看はやしもと）脇田（はしもと整形）、大橋（角谷リハ）、松本（堀口記念）
山本（プライマリー）

参加者：PT 61 名、OT 5 名、ST 5 名



「地域包括ケア推進リーダーステップアップ研修」に参加して

角谷リハビリテーション病院 池田 一樹

平成 29 年 2 月 5 日（日）に有田川町のきびドームにて開催された「地域包括ケア推進リーダーステップアップ研修」に参加しました。前半では、訪問看護ステーションはやしもとの林元光広先生から、地域ケア会議の目的や機能、実際の地域ケア会議におけるリハビリテーション専門職の役割と必要な知識について学ぶことが出来ました。

また、後半には龍神整形外科、龍神正導先生からの実際の事例紹介をもとにグループワークにて紹介事例の地域課題の検討と、新しい介護予防・日常生活支援総合事業の提案について考える機会があり、地域づくりのための様々な視点を考えることが出来ました。

今回の研修を通して自身が関わる地域の現状や課題に目を向けることと、問題解決のための提案を行っていくことが、今後地域で活動して行くリハビリテーション専門職にとって重要な役割であることを改めて感じさせられました。

◇第 7 回 和歌山県訪問リハビリテーション研修会

地域包括ケアシステム推進局 担当理事 林元 光広

リハビリテーション専門 3 職種共催による標記研修会を開催いたしました。例年通り初日は多職種の参加を受け入れましたが、今年度は参加費が発生したにも関わらず 23 名もの行政を含む多職種が参加されました。多くの多職種が参加されるのは喜ばしいことですが、我々はこの意味をよく考えなければなりません。

今回は「あなたの知らない訪問リハ」というテーマの下、行政から訪問リハに期待すること、訪問リハよりも結果を出している在宅管理栄養士、小児の訪問 OT の実際、在宅における薬剤管理、緊急時対応についての講演・実技、また、県内で活躍されている POST からの事例紹介をしていただきました。どれも受講生には刺激的な内容だったと自負しておりますが、会場やタイムスケジュール等に課題がありましたので、早速反省会を開き来年度に向けてスタートをきったところです。第 8 回の研修会も更なる向上を目指しますのでご期待ください。

最後になりましたが、本研修会開催にあたり広報いただいた理事・監事の先生方、準備から運営にご協力いただいた運営委員と運営の補助をしていただいたみなさまに心より感謝申し上げます。

日 時：平成 29 年 2 月 18 日（土）13:20～18:30、19 日（日）9:30～16:20

場 所：和歌山市河西コミュニティセンター 多目的ホール小

講 師：逢坂 伸子 先生（大東市保健医療部高齢支援課 課長補佐 理学療法士）

豊田 綾子 先生（地域栄養ケアセンターとよだ 管理栄養士）

森田 傑 先生（大阪府発達総合療育センター リハビリテーション科 副主任 作業療法士）

中見 浩敏 先生（一般社団法人和歌山市薬剤師会 副会長）

谷口 昌宏 先生（住まいと介護研究所 所長 理学療法士）

事 例：龍神正導（龍神整形）、小林大作（紀州リハ OT）、山内英一（紀和病院 ST）

運 営：岩崎（栗原整形）、林元・川口・山崎（訪看はやしもと）、脇田（はしもと整形）、OT 1 名、ST 4 名

補 助：雑賀（中谷病院）、山本（プライマリー）、大橋・池田（角谷リハ）

参加者：2/18 PT 55 名、OT 14 名、ST 14 名、多職種 23 名 合計 106 名

2/19 PT 51 名、OT 12 名、ST 17 名 合計 80 名



「第7回 訪問リハビリテーション研修会」に参加して

中谷病院 雑賀 俊行

今回で7回目を数える当研修会も、PT・OT・STの共催であり、より一層の連携が重要であることが実感できました。また、私自身も訪問に従事するセラピストとして、多くの気づきがありました。

逢坂先生による「総合事業におけるリハ職・訪問リハに期待すること」では、実はわかっているようでわからない総合事業の事や、私達は行政から何を期待されているかを知ることができました。豊田先生、森田先生、中見先生からはそれぞれ管理栄養士、小児領域の作業療法士、薬剤師というお立場からの在宅の関わりについてご講義頂き、大変貴重なお話を聞くことができました。谷口先生による「緊急時対応の方法と知っておきたい救急救命の知識」では、遭遇しなければ何も起きませんが、緊急時対応の知識・技術はかなり重要であることを思い知らされました。病院で培ったノウハウを踏襲するだけでも、リハビリテーションは成り立ちますが、今回の研修会で最も感じた事は、もっと様々なことができる伸びしろと可能性が沢山あり、それを私達自身がどう扱っていくかで利用者に寄り添うことも他職種との連携の輪を広げることも可能であるということでした。

地域局より

【紀北地域局】

紀北地域局担当理事 美濃 真豊

第1回紀北地域局症例検討会

日時：平成28年12月11日（日）9時～12時

場所：橋本市民病院

内容：9症例に対しての症例発表によりディスカッションを行ない発表者ならびに受講者の知識の向上を図る

参加者：13施設39名

紀北地域局症例検討会に参加して

紀和病院 中川 裕貴

平成28年12月11日に第1回紀北地域局症例検討会に参加し、有意義な時間を過ごすことができたので、報告致します。

肺炎や栄養状態の低下、循環障害を呈した患者様に対しての全身状態を考慮した運動療法、脳梗塞による動作能力の低下に対しての足部からのアプローチや在宅復帰に向けた動作指導・環境調整などのアプローチ、転倒による骨折

を呈した患者様に対しての自宅内外の環境を考慮した動作指導や福祉用具（自宅にある物）の選定など、それぞれの患者様に合わせた介入方法を学ぶことができました。

質疑応答時には、先輩方の知識や経験に基づいた、今後の見解や考え方などを聞くことができました。また、会場の雰囲気は、個人が気負わずに取り組めるように気配りされており、前向きに今後の臨床に活かせるような温かい雰囲気で行われていたと感じました。

研修に参加し、新たな気づきや発見があり、自身を見直す良い機会を得られました。今後、専門職としての責務を果たしていくために、1例1例を大切に考え、日々の臨床を積み重ねていけるように、臨んでいきたいと思いをします。

紀北地域局懇親会

日 時：平成28年12月11日（日）13時～15時

場 所：海鮮ダイニング美蔵ホテルルートイン橋本店

参加者：7施設22名

紀北地域局懇親会に参加して

はしもと整形外科 上野 貴大

第1回紀北地域局研修会後、紀北ブロック懇親会が「海鮮ダイニング 美蔵」にて開催されました。会には8施設23名の方が参加されました。私が、紀北ブロックの懇親会に参加させていただくのは今回で2度目であり、少し緊張しながら参加しました。普段の臨床であまり接することの少ない紀北ブロックの先生方でしたが、様々な臨床場面での経験談や先生方一人一人の哲学やアプローチ方法など、私自身の臨床では考えもつかないようなお話を聞くことができました。現在私は維持期・介護予防分野で働いていますが、急性期・回復期病棟に勤務されている先生方の臨床のお話や他職種との円滑な連携手段など多くのことを学べた有意義な時間となりました。今回お話させていただいた先輩セラピストの方々と交流させていただけたことで、先輩方に少しでも追いつけるよう努力していきたいと思うことができました。また、このような機会があれば積極的に参加させていただきたいです。



第3回紀北地域局研修会

日 時：平成29年2月5日（日）10時～15時

場 所：公立那賀病院 北別館1階 講義室

講 師：宇於崎 孝先生（滋賀医療技術専門学校）

内 容：ゴルフスイングにおける障害予防法と徒手療法

参加者：22名

第3回紀北地域局研修会を通じて

貴志川リハビリテーション病院 岡 賢佑

平成29年2月5日に第3回紀北地域局勉強会が那賀病院にて行われ参加させていただきました。今回の勉強会ではゴルフスイングにおける障害予防法と徒手療法と題され、ゴルフスポーツにおける近年の考え方から障害像まで様々な内容の講義がありました。また動作分析からの構造因子を推察し、介入評価、治療方法を実技で紹介いただきました。徒手療法では脊柱、体幹のマニピュレーションを中心に、自分でできるセルフエクササイズも紹介されました。自分はゴルフ経験がなく、専門用語などあまり詳しくありませんでしたが、本日の勉強会を通じて、少し理解が進んだと感じることが出来ました。また、様々なゴルフスポーツの一面も知ることができたので、これから自分も実際にプレイし、肌で体験できれば良いと思いました。これからもゴルフのみならず、スポーツ分野の勉強も進め対象者の方に還元できれば良いと思います。ありがとうございました。



■平成 28 年度事業報告

I：会議の部

1. 和歌山市地域局部長会議

日 時：平成 29 年 2 月 14 日（火）19：30～

場 所：和歌山労災病院 リハビリテーション室

内 容：各ブロックの平成 28 年度事業報告及び平成 29 年度事業計画について

出席者：吉田・田川・小林・辻中

II：事業の部

1. 紀北地域合同勉強会（和歌山市北・東ブロック担当）

日 時：平成 29 年 1 月 29 日（日）

場 所：和歌山労災病院 2F 大会議室

内 容：学術発表

『シーティング ～当院入院患者様に実践した症例～』

発表者：矢吹 光 先生（山本病院） アドバイザー：小松 大哲 先生（山本病院）

『運動連鎖 ～頭頸部・胸郭部の介入が動作に与える影響～』

発表者：小松 大哲 先生（山本病院） アドバイザー：吉田 知幸 先生（西和歌山病院）

『THA 後の股関節回旋機能に着目した 1 症例』

発表者：花澤 晃宏 先生（山口整形外科） アドバイザー：吉田 知幸 先生（西和歌山病院）

『入院高齢患者における筋内脂肪の量的特徴』

発表者：高橋 慎一 先生（河西田村病院） アドバイザー：西川 勝矢 先生（河西田村病院）

『脳梗塞左片麻痺患者において杖歩行自立を目指した症例について 左立脚期の延長に着目して』

発表者：小松 大輝 先生（紀和病院） アドバイザー：秋山 隆博 先生（紀和病院）

参加者：17 施設 40 名

平成 29 年度も和歌山市地域局事業へのご支援及びご協力のほどよろしくお願いいたします。

事務局より

他団体・他士会からのニュース 学術誌の受領報告（H28.12.1～H29.2.13）

【ニュース】

（公社）秋田県理学療法士会 No. 174

（公社）新潟県理学療法士会 No. 177

（公社）大阪府理学療法士会 No. 259

（一社）京都府理学療法士会 No. 271

（一社）兵庫県士会 No. 168

（公社）神奈川県理学療法士会 No. 270

（一社）静岡県理学療法士会 No. 160

（公社）愛知県理学療法士会 No. 184

（公社）滋賀県理学療法士会 No. 199. 200

（公社）鹿児島県理学療法士会 No. 65. No. 67. No. 69

（一社）群馬県理学療法士会ニュース No. 128. 129

（公社）大分県理学療法士会ニュース No. 109

（公社）広島県理学療法士会ニュース No. 247

【学術誌・学会誌・機関誌・記念誌】

・和歌山県言語聴覚士会 News Letter 第 31 号

・愛知県理学療法学会誌 Vol. 28 No2 2016

・第 30 回鹿児島県理学療法士学会 プログラム・抄録集

・理学療法兵庫 NO. 22 2016

・愛知県理学療法学会誌 プログラム集

・熊本県理学療法士協会 かくどけい Vol. 123

- ・秋田理学療法 Vol. 24 No. 1 2016
- ・和歌山県病院協会会報 平成 29 年 1 月号 No. 236

以上の刊行物をご覧になりたい方は、事務局、資料調査・管理部の酒井雄亮氏（琴の浦リハビリテーションセンター）までお問い合わせ下さい。

■事務局からのお願い■

庶務部より

庶務部長 小田 佳亮

施設長名変更時のお願い

変更があった場合、速やかに協会庶務宛に FAX またはメールにてご連絡下さい。

協会事務局 FAX：073-446-1207

メールアドレス：wpt-shom@pt-wakayama.or.jp

記載の内容に関しては、変更前の氏名と変更後の氏名の両方を記載お願いします。

また、フリガナの記載もよろしくお願い致します。

FAX にて送信して頂く場合は文字を大きめで崩さずに記載して頂けるようにお願いします。

会員異動申請について

会員の皆様の中で、自宅会員として異動申請される方がいます。

日本理学療法士協会において、会員区分として下記のとおり勤務先をもつ会員は勤務先会員となります。

これは、和歌山県理学療法士協会でも同様です。

自宅会員とは勤務先を持たない会員のことです。パート勤務の会員で、現在の登録が自宅会員となっている先生方は、再度異動申請の手続きをお願いいたします。

【会員区分について】

勤務先会員	勤務先をもつ正会員 <u>※非常勤の方も勤務先をもつ場合は勤務先会員をご選択ください</u>
自宅会員	勤務先をもたない正会員および休会会員
海外会員	海外に居住する正会員

【所属都道府県士会について】

勤務先会員	勤務先がある県の士会に所属
自宅会員	自宅がある県の士会に所属

（日本理学療法士協会 HP より）

◇事務員のご紹介

昨年12月19日より事務員をパート雇用（13:00～17:00）することとなりました。
現在は会員管理に関する業務を中心に行っていただいています。
会員の皆様にご連絡をすることもあろうかと思います。よろしくお願いいたします。

『協会事務所で事務員として、事務をさせていただく事になりました。
木野亜由美と申します。よろしくお願いいたします。趣味はバレーボールです。』



編集後記

本年度も、あと僅かとなりました。会員の皆様いかがお過ごしでしょうか？

協会ニュース（本号）が皆様のお手元に届く頃には、新人の理学療法士を職場に迎え入れられた病院・施設も多いかと思います。巻頭言にありますように会員個々がしっかりと学術研鑽を重ね、患者さんへ質の高い理学療法を提供できるよう底上げを図っていかねばいけないと考えます。先輩の先生方は経験値を伝承し、患者さんに寄り添って「賞賛に値する理学療法」を提供できる新人・後輩の理学療法士を育てなければいけないと感じてもらえればと思います。当協会は本年度も忙しい1年となりました。

昨秋開催されました近畿理学療法学会大会では、一昨年の兵庫県での学会大会の視察から始まり、準備委員一同が1年をかけて作り上げ、当日運営にあたった会員の協力のもと、無事盛会裏に終えることができました。

今年度より協会執行部の組織が一部改編され、新たにできた地域包括ケアシステム推進局では、先進地域への視察や市町村での地域ケア会議への参画、リハ専門職としての助言など多忙を極めた1年となったのではないのでしょうか。また、かねてよりの課題でありました事務所の移転と事務員の雇用もようやく現実的なものとなり、協会や事務局機能の強化に向けて一歩ずつ歩みを進めているところです。

来年度は当協会のホームページをリニューアルする予定です。現在のホームページより見やすくし、スマホ対応導入を考えております。これからも質の高いホームページを作るために頑張っていきますので、皆様からのご意見等がございましたら広報局までお寄せ下さい。

（広報局 IT 部長 川端 一世）



公益社団法人

和歌山県理学療法士協会

公益社団法人 和歌山県理学療法士協会
〔事務局〕
琴の浦リハビリテーションセンター内
〒641-0014 和歌山市毛見1451
TEL 073(499)5000